

平成 26 年度 事業報告

公益目的事業 1 豊かな人間性を涵養するボランティア理解と普及に関する事業

(1) ボランティア研修事業

①ボランティアカフェ

ボランティアの研修・スキルアップを目的に、市内外で活躍されている様々なボランティア活動実践者をお招きし、コーヒーを飲みながら気軽に語り合う会を、年 6 回開催いたしました。

- ・ 6 月 7 日(土)「緑の大地を目指して」 参加者数:26 名
- ・ 7 月 20 日(日)「世界でものづくりを伝えて」 参加者数:18 名
- ・ 12 月 7 日(日)「ミャンマーの子ども達を救いたい」 参加者数:29 名
- ・ 2 月 1 日(日)「ものづくりの楽しさ～木の仕事を通じて～」 参加者数:65 名
- ・ 2 月 28 日(土)「東北きずな演奏の旅」 参加者数:40 名
- ・ 3 月 15 日(日)「チャレンジアジア～子ども達の笑顔の為に～」 参加者数:22 名

②はじめの会

新年度のスタートにあたり、あすでの理念や目的を登録者と再確認し、1 年間のあすでの事業を共有する場として開催いたしました。

- ・ 開催日:4 月 5 日(土) 参加者数:120 名

③あすでの日

あすて設立記念日に、あすてと登録者(ボランティア)が、賛助企業・団体に対する感謝とあすでの事業に対する理解を深めていただくために、理事長の講話、登録者(ボランティア)による活動紹介及び親睦交流会を開催いたしました。

- ・ 開催日:12 月 11 日(木) 参加者数:120 名

(2) ボランティア広報事業

①広報

あすでの情報を内外に発信することを目的に、あすでのホームページを自前で作成し運営しました。また、館内掲示を充実させ、他団体の事業にも積極的にPRブースを出展したほか、リーフレットの作成、毎月 1 回の通信「むすび」の編集・発行及びホームページ上での発信を通し、より多くの方にあすでの事業を知っていただきました。

②記録

あすでの日々の活動を写真・ビデオなどで記録し、ホームページ上で発信したほか、あすでのPR資料作成などに活用いたしました。

公益目的事業 2 地域の健全な発展のために活動するボランティアグループに対する支援に関する事業

(1) ものづくり事業

①森のプレゼント

(株)角文やアイシン精機などのご支援もあり、間伐材の確保が可能となりました。簡易製材機も導入し、間伐から製品製作までのあすて内での一貫作業が出来るようになりました。(株)豊田自動織機の賛助を得て、高浜市内の保育園にベンチを 12 脚寄贈いたしました。その他、豊田市の児童養護施設・梅ヶ丘学園に輪投げセットを、豊田市社会福祉協議会に日本地図パズルとドミノセットを寄贈した他、活動資金への賛助を目的としたチャリティージャズコンサートの企画・運営も行いました。

②ジオラマ

鉄道ジオラマの整備をものづくりボランティアが主体となって行い、地域の方々に開放し運転体験などを行っていただきました。

(2) 環境事業

①あすて地球緑化プロジェクト「砂漠化防止のための中国植林活動」

日本人と中国人のボランティアが協力して中国内モンゴル自治区の砂漠化を防止し、地球環境のことに ついて、ともに汗を流しながら考える機会とすることを目的に、アイシングループの協力のもと、4月24日(木)～28日(月)の日程で、中国内モンゴル自治区シリンゴル盟シリンホト市近郊の砂漠地帯にて2回目の現地活動を実施し、2万平米の土地に約10万本の黄柳、5万本の楊紫、200本の障子松を植林しました。また、10月12日(日)には、植林活動へのチャリティーを目的に、アイシン精機課長会、アドヴィックス課長会と 同でチャリティーウォークを開催しました。

- ・現地植林活動参加者数：あすて一般公募11名、アイシン国内グループ13名、
アイシングループ中国現地法人43名 計67名
- ・チャリティーウォーク参加者数：110名

②環境・美化

グループが主体となって竹藪の間伐と間伐竹を利用した竹炭・竹製品の製作活動を行ったほか、あすて施設内の清掃活動、樹木の剪定、花壇の整備等のボランティア活動をグループとともに進めました。

(3) 福祉事業

①慰問

グループが主体となって、福祉施設等での慰問活動(太鼓演奏や民族舞踊等)を年255回程度行いました。

②あすてチャリティー10日市

手作り品を販売し、収益を社会貢献活動に役立てることで売り手と買い手双方が気軽に社会貢献に参加できる場として毎月10日にあすてチャリティー10日市を開催しました。

売上総額:1,711,720円 収益寄付総額:659,569円(中国植林、東北支援、チャレンジアジア、UNHCRほかに寄付) 出店総数(延べ):142 参加者総数(延べ):1,469名

③募金・収集ボランティア

あすて利用者の協力により、年間を通して、ペットボトルキャップ 80,806 個、外国コイン 1,408 個、外国紙幣 30 枚、ベルマーク 10,220 点、使用済み切手段ボール 2 箱、はがき 775 枚、未使用タオル 147 枚、文具(鉛筆 179 本ほか)を収集し、日本ユニセフ協会、こどもの里、オイスカなどに寄付いたしました。

また、グループが主体となって、東日本大震災や中国植林活動への支援を目的としたチャリティーコンサートを年 3 回行いました。

- ・ 8 月 27 日(水)「弦の調べにのせて」参加者数:109 名 収益寄付額:75,000 円

- ・ 11 月 15 日(土)「みんなで創る音楽祭」参加者数:74 名 収益寄付額:64,000 円

- ・ 3 月 16 日(月)「あすての森チャリティーコンサート」参加者数:128 名 収益寄付額:100,000 円

その他、利用者が不用品等を持ち寄り、あすて内での販売(ミニバザー)を通してその収益を難民支援団体などに寄付した他、ボランティアによる利用者へのランチとコーヒーの提供(あすてらんち&カフェ)を通し、収益をいのちの電話、幼い難民を考える会、AHI(アジア保健研修所)、あすての森募金などに寄付いたしました。

- ・ ミニバザー収益寄付総額:760,000 円

- ・ あすてらんち及びカフェ収益寄付総額:150,000 円(あすてらんち 163 回 カフェ 114 回)

⑤グループ支援事業

グループが日々の活動を円滑に、また活発にできるよう、活動場所の調整、活動の機会の提供、活動の支援、活動の意識向上・指導、登録、ボランティア保険への加入などを行いました。

公益目的事業 3 多文化共生を推進し、国際相互理解を図るための国際交流・国際協力及び外国人支援に関する事業

(1) 国際交流・協力事業

①スポーツ・文化を通じた国際交流

グループが主体となって、バドミントンなどのスポーツ活動、陶芸などの文化活動を通じた国際交流活動を進めました。

②ホームステイ受け入れ

日本政府の青少年交流事業「JENESYS2.0」を受けた日本国際協力センターからの要請により、以下の通り外国人青少年のホームビジットを受け入れました。

- ・ 6 月 13 日(金)～15 日(日) シンガポールの大学生 24 名を受け入れ (受け入れ家族 11)

③チャレンジアジア 2014 カンボジア

青少年の国際協力とグローバルな視点を持った人材の育成を目的に、幼い難民を考える会の協力のもと、カンボジアプノンペン近郊の保育所にて校舎のペンキ塗り、ホームビジット、交流会などのボランティア活動を実施いたしました。また 9 月より全 7 回の事前研修を実施しました。

- ・ 現地活動は 12 月 24 日(水)～31 日(水)

- ・ 参加者数:10 名(公募により 20 歳～40 歳までの若者を募集)

④難民支援活動

世界の難民の現状を理解し、支援につなげることを目的に、グループが主体となって難民を題材にした映画「ル・アーヴルの靴みがき」を上映いたしました。また、チャリティーカフェ、チャリティーバザー、カンボジアパネル展も同時開催し、収益を UNHCR、幼い難民を考える会に寄付いたしました。

・開催日:6月28日(土) 参加者数:100名 収益寄付総額:126,644円

(2) 多文化共生事業

①たのしいにほんご

とよた日本語学習支援システムによる日本語学習の第13期～15期を実施し(各期12回)、3期を通して日本人パートナー78名と外国人受講者94名が、会話を主体とした日本語の習得に励みました。

②日本文化体験デー

外国人の方に気軽に日本文化を体験していただき、国際相互理解につなげることを目的に日本文化体験デーを開催しました。

・開催日:3月22日(日) 参加者数:91名

公益目的事業4 地域の健全な発展を図るために必要な担い手づくり及び児童・青少年の育成に関する事業

(1) 青少年支援事業

①クルマづくり究めるプロジェクト

クルマづくりを通して青少年の健全育成とものづくりに主体的に挑戦する人材の育成を目的に、豊田市と共催で実施。「入門」「研究」「挑戦」の3つのコースに分かれて、年30回程度実施。指導する技術者もボランティアで募集。

・参加者数:3コース計104名 指導員ボランティア数:111名

②勤労青少年に対する相談対応・指導

あすてを利用する青少年に対し、相談対応、助言等を行いました。

その他事業

①企業研修の受け入れ

賛助企業の研修に対し、ボランティア研修の機会の提供などを行いました。

②他団体との共働・協力・共催

1月25日(日)に、「社会人のための地域参加促進セミナー」を、豊田市社会福祉協議会、とよた市民活動センター、トヨタ自動車労働組合と共催して開催した他、関係団体の事業へのPRブースの出展、備品の貸与、交流会議への参加等を年間を通して行いました。